



西桂町



Nishikatsura

VOL.
93

議会だより



6月定例会

- 小林町長行政報告 2～5
- 一般質問（武藤議員、柏木議員） 11～12
- コミュニケーション広場 13
（西桂句会）

第43回 三ツ峠歩け歩け運動



町長行政報告

町の安全、安心の向上 社会生活の充実への実践

4月より「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」による介護サービス事業が本格的に開始されました。介護サービスの充実や介護予防を含めた総合支援事業など町の高齢者福祉の充実に向け取り組んでまいります。

平成29年6月定例町議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご応召いただき、ご出席誠にありがとうございます。

平素、町政運営におきまして、絶大なるご支援、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

開会にあたり、提出いたしました案件の提案理由の説明を申し上げますとともに、平成29年度の各

種の事務事業についてご説明し、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まず、「**地域防災の推進**」についてであります。

災害時の減災対策につきましては、「自助」と地域の「共助」が最も大きな力を発揮することは明白であり、地域と「公助」が密接に連携することが防

災対策の基本であります。また、予防対策につきましても、地域の歴史や地形、家庭などの実情を良く知っている町民の皆様のご意見・ご提言は欠かせないものと考えております。

このため、町では定期的に「区長・防災リーダー会議」と「防災連携会議」を開催し、町や各自主防災会、防災訓練等の取り組みなどを協議してい

るところであります。

このような中で、5月30日に開催いたしました「防災連携会議」は、議員各位をはじめ区長、防災リーダー、消防団、民生委員等多くの皆様にご出席をいただき連携を図ったところであります。

今後も、各種団体の皆様と災害情報の共有化を行い、地域力を強化する中で防災・減災対策の充実につとめてまいりたいと考えております。

また、災害発生時の状況をスマートフォンアプリを使用し、状況写真と地図を使い役場本部や関係者に報告する方法を、今年度開催する防災訓練で実施するため、消防団



各地区に分かれて行なわれた防災連携会議



ワーカーズコープ「ばいかも」7月イベントに参加された利用者みなさん

員、役場職員に研修会を行ったところでもあります。今後、使用実験を繰り返す中で、システムの確立をしていきたいと考えております。

また、県事業として実施している県道富士吉田西桂線につきましては、

計画地に有る防火水槽の移設工事のための用地を土地開発基金で取得を行いました。取得金額が確定しましたので、本定例会で基金へ戻すための経費を予算計上するとともに、移設工事を5月末に発注したところであり

ます。

また、柄杓流川と急傾斜地との間に位置する下暮地河原地区住民の安心と安全確保を図り、災害時の孤立を防ぐための、(仮称)宮作橋新設事業につきましては、去る5月18日に下暮地3組、4組の皆様及び宮作地内に会社を構え、大型車両を所有する二つの企業に事業説明会を実施するとともに、5月末には予備設計業務を発注いたしました。予備設計の概要といたしましては、河川や道路用地の測量と地質調査が主な内容となっており、予備設計終了後、来年度には橋梁及び道路改良の詳細設計と事業用地の買収、平成31年度には橋梁下部工等の工事、平成32年度には橋梁上部工及び架設工事と道路改良工事を予定しております。

次に、「**保健・医療の充実**」についてであります。

特定健診の受診率の向上につきましては、特定

健診の必要性を理解していただき、積極的に受診をしてもらうことを目的に、未受診者宅を職員等が訪問することで、特定健診の受診率アップに積極的に取り組んでおります。

また、今年度、集団人間ドックとともに、個別受診の人間ドックを実施するため、医療法人石和温泉病院「クアハウス石和」と委託契約をし、広報や個別通知などを通じて周知をする中で、勧奨に努めてまいります。

次に、「**子育て支援の推進**」についてであります。

子育て世帯への住宅用地分譲につきましては、高齢化や人口減少時代が本格化する中で、空き家、空き地の増加が社会問題化しております。

空き家の発生理由については、地方における雇用や教育の問題をはじめ、様々な原因が考えられますが、高齢者独居世帯において入院や介護施設へ

の入所、世帯主の死亡、都市部の親族の元への移住などが、最も身近な理由として挙げられており、今後、さらに高齢化が進むことを踏まえれば空き家の増加は避けられないところであります。

これらの空き家、空き地は、そのまま放置されて放置期間が延びるほど損傷が増えていき、倒壊や火災など周辺住民の日常生活を脅かすとともに、既存の周辺住宅の資産価値を減少させるにとどまらず、さらなる人口流出を加速していく可能性があります。

このように、住民の安心や安全が複雑に絡んでいることから、空き家問題は所有者個人の責任にとどまらず、行政の果たす役割は重要であり、より迅速に対応していかなければならないと考えております。

また、空き家、空き地の活用は、その地域で受け入れられることが重要であり、取り組みの内容

を地域や町外に伝え、定住人口の減少を可能な限り食い止め、持続可能な地域社会を形成することが必要と考えており、新たな土地利用としてもその存在意義を見出し、町の活性化を図っていくため、子育て世帯に向けた「分譲」を進めてまいります。

そのため、所有者から相談のあった柿園地区の空き家について、用地調査、公法適用、税務署協議等の事務に目処が立ちましたので、今定例会に用地整地経費の計上をいたしましたので、ご理解をお願いいたします。

次に、「**高齢者・障がい者福祉の充実**」についてであります。

町では交通手段のない高齢者や障がい者に対し、通院・買い物などを目的に公共交通(タクシー)利用料金補助事業を平成28年1月から実施して参りましたが、その実績と検証の中で、平成29年度より、助成対象年齢に応じ

た助成額の見直しなど支援の改善に努め、今後も利用者からご意見を伺う中で、助成内容の充実に努めるとともに、他の移動手段も模索してまいります。

高齢者の介護予防事業といたしましては、三ツ峠グリーンセンターを会場に、5月10日から11月29日まで毎週水曜日計30回にわたり、ストレッチや筋力トレーニング等の介護予防地域支援事業運動教室を実施してまいります。また、4月より「いきいき健康福祉センター」において、転倒予防・認知症予防などを目的に元気はつらつ運動教室を毎週火曜日に開催しておりますが、高齢者の運動に対する意識が事業の実施と共に高まっており、続いて、いきいき健康福祉センター等を拠点とした地域福祉の充実についてであります。この4月より指定管理者の「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」による

センターの施設管理及び介護サービス事業等が本格的に開始され、町民の皆様に対し、これまで以上のサービス向上を目指すにあたり、介護サービスの充実と健全経営への建て直し、更には介護予防を含めた新たな介護サービス等への展開、総合支援事業など多岐に渡る福祉施策を推進していくことを目的に、町の高齢者福祉の充実に向け取り組んでまいります。

障がい者福祉については、4月より富士北麓の6市町村で構成する富士北麓基幹相談支援センターが富士吉田市役所内に開設され、当町の障がい者あるいはその家族など、多くの方が利用され、熟練スタッフによる専門的な知識や見地から、障がい者のサービス、就労、健康問題など様々な相談に對した確かな支援に結び付けていただき、町の障がい者福祉の充実に大きな一翼を担っていただいくものと期待しているところ

ろであります。
次に「**観光の振興**」についてであります。

第13回さくら祭りにつきましては、4月9日に実施をいたしましたところ、当日の断続的な雨の影響を受け、昨年に比べ300人少ない約1,200人の方々のご参加をいただき実施することができました。天候不順の中、さくら祭り実行委員会の皆様や商工会をはじめとする関係者の皆様のご努力に感謝を申し上げます。

続いて、倉見山のクマガイソウ群生地公開についてであります。とうざんの里のエビネラン公開と、JR、富士急行主催の「駅からハイキング」を同じ期間で設定し、4月27日から5月18日まで22日間実施しましたところ、3000人余りの来場者となりました。昨年と比較し約300人の減少となりましたが、3月下旬から低温の影響を受け生育が1週間ほど遅れたこ

とにより開花がゴールデンウィーク前半に間に合わなくなったことが影響したものと考えられます。公開期間中、休日・祭日を含め、ふれあいサロン三ツ峠で受付をしていた「ふれあいサロン三ツ峠水仙」の皆様、群生地でクマガイソウの案内業務をしていただいた「クマガイソウを愛でる会」の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、昨年度に引き続き商工会事業として町内10店舗で買い物等していただいた方にポストカードをプレゼントいたしました。これからも町の観光資源の一つとしてクマガイソウの繁殖に取り組み、町の観光振興を図ってまいります。

また、「地域おこし協力隊員」2名においては、駅からハイキングの見学拠点として、寺田隊員は写真ギャラリー、堀田隊員は織物工房を公開し、来町者への町の魅力発信に取り組んだところであります。



大勢の人でにぎわったさくら祭り

次に、「**道路交通網・公共交通体系の確立**」についてであります。

県事業として実施している県道富士吉田西桂線整備事業につきましては、富士吉田市上暮地内における新道建設が終了し、

料金所接道部分の造成工事及び舗装工事が現在進められておりますが、西桂町内における狭隘部分の用地取得や拡幅工事の進捗が進んでおらず、現時点においては国道の渋滞解消にさほど寄与していない現実があります。私といたしましては、本



新しく整備されたダッグアウト

定例会閉会后、関係者とともに、町内の県道拡幅工事を知事に要請してまいる所存でありますので、町民の皆様のご理解をお願いいたします。なお、その際には議員各位に同行していただきたいと考えておりますので、ご協力

をお願い申し上げます。続いて、スマートインターチェンジ整備事業につきましては、地区協議会のご理解をいただき、名称を「富士吉田西桂スマートインターチェンジ」として、独立行政法人日本高速道路保有・債務

返済機構宛に進達したところ、5月12日付けで、同機構理事長から、名称が正式に「富士吉田西桂スマートインターチェンジ」に決定したとの通知がありました。

続いて、町内2カ所の中央道跨道橋（溝上橋・月夜ノ平橋）撤去事業につきましては、去る3月28日に溝上橋、4月4日には月夜ノ平橋の撤去を無事滞りなく完了いたしました。議員各位をはじめ町内外の多くの皆様に深夜にも関わらず現地に撤去作業を視察していただいたところであります。また、町民グラウンドを使用しての解体作業もことのほか早期に完了し、町民の皆様からの問合せや苦情等もなく、安堵しているところであります。現在、付帯工事として発注いたしました町民グラウンドの各種整備工事を進めているところであります。

次に、「**地域の安全強化**」についてであり

ます。

町内防犯灯のLED灯への取替事業につきましては、5月に町内電気工事事業者4社と契約を締結し、8月末までに発注した211灯全てのLED灯への交換が終了する見込みとなっております。本年度の事業執行により、8月末現在でのLED灯数は493灯となり、全体の約62%となる見込みであり、ナトリウム灯については全てLED灯への交換を完了する予定であります。なお、211灯のうち、100灯につきましてはコミュニティ助成事業の確定を受け、今般上程いたしました一般会計補正予算、歳入に、雑入として財源を追加計上いたしました。また、残り305灯の蛍光灯につきましても、さらにもう1年前倒しをして来年度中にLED灯への交換を完了したいと考えておりますので、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

次に、「**生涯学習の充実**」についてであります。

地方創生拠点整備交付金を活用し、平成28年度繰越事業で実施しております西桂町武道館改修事業であります。4月に実施設計を発注し、現在施設の計画図の作成、工事費の算出作業を行っております。

また、5月28日には、「自然に親しむ 健康・体力づくり運動、町内間交流」を目的とし、「第43回三ツ峠歩け歩け運動」が中学校強歩大会と連携して実施され、総勢380名の参加がありました。この事業にご協力をいただきましたました体育協会の皆様をはじめ、スポーツ推進委員・ボランティア協会・関係団体の皆様に感謝を申し上げます。

次に、「**教育行政の推進**」についてであります。

今年度より、子育て支援対策として、町内に住む幼児、児童、生徒の入学時等における保護者の皆さんの経済的負担を軽減し、児童及び生徒の健全な育成を支援するため、入進学及び就職時に入学就職支度金を支給しております。5月末現在の状況ですが、対象者118人のうち101人の保護者の皆さんに支度金の支給を完了いたしました。残りの皆さんにつきましても、必要な受給資格を満たす方全員に支給できるよう引き続き事業を進めてまいります。



財政調整基金1000万円・ 庁舎建設基金3000万円を積立

6月定例会

6月定例会は平成29年6月9日に招集され、同日に本会議、その後会期中に各常任委員会審査会が開催され、8日間の会期中、16日の本会議をもって閉会いたしました。

町長より専決処分3件、条例3件、補正予算2件、同意10件、計18件が提案され、全て原案のとおり可決・同意されました。

平成28年度 一般会計補正予算(第5号)

● 主な委員質疑

問 雑入として入る三ツ峠グリーンセンター交流施設納付金の104万9千円は、(株)東海体育指導の利益の1/2ということではないのか。

総務課長 そのとおりです。

問 毎年決算書を議員に配布してもらえるはずだが。

総務課長 決算書は既に届いており、現在精査中です。例年どおり議員に提示を予定しています。

意見 地方消費税交付金は自治体の人口によって配分されると思う。人口が増えればその分交付金も増えるので、執行部には人口増に向けた努力をしていただきたい。

西桂町職員の育児休業等に関する条例及び西桂町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

● 主な委員質疑

問 育児休暇は男性職員にも適用されるのか。

総務課長 そのとおりです。

問 育児休暇や介護休暇は無給休暇なのか。

総務課長 職員の休暇の取得については、皆最初是有給休暇を使い、有給休暇を使いきった段階でその他の特別休暇を取りますが、有給休暇20日を全て使いきるような職員も、介護休暇を使って休んだ職員も今まではいません。介護休暇は無給休暇で、時間ごとに消費されるものです。なお、本年10月には新たな法改正があるとの情報がありますので、確認していきたいと思っています。

平成29年度西桂町一般会計補正予算(第1号)

● 主な委員質疑

問 柿園地区分譲地の造成は図面中区画のA部分とB部分の合計でいいのか。

総務課長 AとB及びその間の道路分の合計です。

問 用地買収の計画が示されずにいきなり造成費の計上となっているが、用地買収はどうなっているのか。

総務課長 町長行政報告にもあったとおり、公法の適用や税務署協議に目処がつき、6月中頃までに税務署の許可が下りる予定となっています。

意見 町内には空き家の件数がかなりあるようだ。空き家購入者に対する助成を考えていただきたい。また、空き家の相続や売買などの問題に対応するワンストップ対応を是非検討していただきたい。

総務課長 相続や相続以前の問題をクリアするために、弁護士や司法書士、土地家屋調査士などで組織する相談窓口を県を中心に構築しているところ

土地開発基金にて 神鈴の滝周辺用地を購入



町で購入が検討される遊歩道

です。町としても県や各市町村と連携する中でできるだけ早期に対応していきたいと考えております。

産業振興課長 遊歩道か

ら登山道までの間の土地で、町で購入を検討してほしいと先方から依頼されたために補正予算に計上しました。

問 神鈴の滝周辺2ヶ所の不動産鑑定費が計上されているが、場所はどこか。

産業振興課長 その部分

は借りています。

問 先般、国土交通省で緊急メールを全国373市町村に拡大したとのニュースがあったが、町は現在373市町村の中に入っているのか。

総務課長 残念ながら入

っていない。桂川の管理者が甲府河川事務所ということもあり、氾濫しない川との認識のようです。ただ、桂川沿線自治体で減災対策協議会を立ち上げる取組が昨日から始まっており、また、国交省で桂川に水位計を何箇所か設置しているのと合わせて町でも桂川公園とグリーンセンター手前に監視カメラを設置し、河川の氾濫状況や水位の状況を役場で監視できるシステムを構築しております。また、国道の混雑状況や大雪の状況など、国道の状況を住民が自宅のパソコンから見ることでできるシステムを構築中であるとも聞いております。

意見 きめ細かなサービ

スを提供していただきたい。また、柿園地内に桂川護岸の未整備箇所があると聞いているので町長には働きかけをお願いしたい。

町長 昨日、相模川・桂川減災対策協議会が開催

されましたが、県の情報収集が今からということとで県の対応の遅さに憤っています。広域的な組織を立ち上げるということです。早めの情報提供をしてくれるようお願いしています。なお、議員ご指摘の場所とは違うかもしれませんが、境橋付近の護岸改修について事業が前に進んでいくようですのでご理解いただきたいと思っています。

問 柿園分譲予定地に防火水槽を設置するとのことだが、防火水槽については2基要望しないと補助金が付かないと聞いている。他に防火水槽の設置予定があるのか。

総務課長 長塚町有地の近隣地権者から設置の要

望が上がっているの、状況を見ながら2基設置の目処がたつた段階で予定します。

意見 保育所、小学校、中

学校で授業中に子どもが病気になった時に病院に連絡すれば看護師が来てくれるサービスをしている自治体も全国的に多くなっている、町でもそのようなサービスを検討していただきたい。

教育長 今、授業中などに具合が悪くなった子どもは家に帰宅させていますが、そういったサービスについて検討させて

いただきたいと思っています。

意見 是非検討をお願いしたい。また、現在15歳まで子ども医療費が無料化となったが、18歳までの延伸をお願いしたい。

福祉保健課長 昨年から医療費の想定などで検討をしています。今後は町長と相談して検討していきたいと考えています。

議会改革検討特別委員会・ 議会報告会運営について

事務調査
6月9日実施

（委員長概要説明）

昨年までの議会報告会の反省を踏まえて、開催方法、開催内容の検討を重ねてきました。本年は7月15日町内全域を対象にぎずな未来館での開催といたします。

内容につきましては、3月議会、6月議会で一般質問に至った経緯と行政の回答を説明し、町民の方々のご意見を伺う予定



7月15日に開催された議会報告会

定です。また、9月議会、12月議会的一般質問についても、本年度さらに2回目の報告会の開催も検討していきます。

次に、町議会の今後の課題を説明します。今考えているのは、太陽光発電などが随所にあるが、景観的にどうか、他にも問題がないのか、今後町議会で扱っていくようなことがあれば網羅したいと思っています。

議会のテレビ放送については、昨年来のアンケートの調査結果を踏まえ、放映予算の削減を目標に考えた、新しい放映方式に至った経緯を説明し、町民の方々からの意見をいただきます。また、報告会全般についてのアンケートに解答していただき今後の資料として参考にさせていただきます。内



容についても、精査した上で決定していきます。周知の方法ですが、6月14日の回覧板で議会のテレビ放映の案内とともに、報告会の開催も合わせて周知します。さらに6月28日からの回覧板で「7月15日（土）報告会開催」のご案内で周知を図っていきます。

出席者につきましては、多くの町民の皆様にご参加願いたいと思っておりますが、各区の区長はじめ各種団体の役員の皆さんに参加依頼を郵送し多くのご意見がいただけるよう手配をしていきます。

多くの町民の皆様にご参加願いたいと思っておりますが、各区の区長はじめ各種団体の役員の皆さんに参加依頼を郵送し多くのご意見がいただけるよう手配をしていきます。

多くの町民の皆様にご参加願いたいと思っておりますが、各区の区長はじめ各種団体の役員の皆さんに参加依頼を郵送し多くのご意見がいただけるよう手配をしていきます。

建設文教委員会・中央道 跨道橋撤去現場視察

事務調査
4月4日実施

（建設水道課長概要説明）

本日の作業工程については、既に午後8時より富士吉田線全線を通行止めにし、現在までに防護柵（ガードレール）撤去、作業車両の搬入設置、中央分離帯ガードレール撤去及び中央分離帯への敷鉄板設置等を終了しております。

その後の工程につきましては、設置した中央分離帯敷鉄板の撤去や、撤去した中央分離帯ガードレール等の復旧作業を午前5時くらいまでに終了する予定で、午前6時には通行止めの解除を行い、予定された全工程を完了することとなります。なお、町民グラウンド下の溝上橋につきましては、同じ作業を3月28日の深夜に実施し、既に撤去作業が終了しております。



撤去された跨道橋

溝上橋の撤去工程では、橋の切断が概ね午後10時30分頃から始まり、多軸台車の移動までを見て撤収したのが概ね午前1時前くらいですので2時間半弱くらいの見学時間の見込みとなります。

また、明日の昼間は休工となっており、作業や

ードである町民グラウンドには撤去した橋や多軸台車、巨大クレーン等が置かれたままになっていきます。超大型の車両や切断された橋を見る機会は今後もしばしばあると思いますので、見ていただければと思います。

6月定例会 条例制定・改正等 賛成全員

西桂町税条例の一部改正（専決処分）	地方自治法の一部改正（平成29年3月31日公布）に伴う所要の改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）	地方自治法の一部改正（平成29年3月31日公布）に伴う所要の改正
西桂町個人情報保護条例及び西桂町情報公開条例の一部改正	行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第58号）の改正に伴う一部改正
西桂町職員の育児休業等に関する条例及び西桂町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う一部改正
西桂町ホームヘルパー派遣手数料条例の廃止	西桂町社会福祉協議会事業の見直しに伴い、条例を廃止

6月定例会 補正予算 賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成28年度西桂町一般会計補正予算（第5号） （専決処分）	4105万円	23億6615万円
○歳入 地方交付税等の確定 ○歳出 財政調整基金1000万円・庁舎建設基金積立金3000万円 三ツ峠グリーンセンター交流促進施設等整備基金へ105万円積立		
平成29年度一般会計補正予算（第1号）	1483万円	21億1207万円
○歳入 繰越金及びコミュニティ助成金を追加 ○歳出 民生費 介護保険特別会計繰出金、土木費 空き家対策事業経費追加		
平成29年度西桂町介護保険特別会計補正予算（第1号）	155万円	3億2560万円
○歳入 国庫補助金及び繰入金を追加 ○歳出 介護保険法の改正に伴うシステム改修費及び認知症 地域支援推進員研修費を追加		

山 渡 前 鹿 小 高 渡 勝 梶 志
 崎 部 田 糠 林 尾 邊 俣 原 村
 泰 豊 光 利 保 美 健 義
 洋 保 光 子 男 夫 淳 紀 男 造 男

西桂町農業委員会委員の
 任命について
 《全員賛成》



議員活動報告

地域福祉事業所「ばいかも」 開所式に参列しました。

「ばいかも」開所式に参加

5月13日 土曜日 い ました。

きいき健康福祉センターにて、デイサービス「ばいかも」の開所式が議員も招待され和やかに開かれ

「ばいかも」の名は、清流に生息する水草の様にその土地に根付き清い気持ちで接していきたいとの



「ばいかも」開所式のテープカット

思いで命名したようです。今年度より指定管理者ワーカーズコープに事業が受け継がれ、式典での代表者挨拶から所長をはじめとする職員の新たな意気込みを感じました。式典が終り昼食をいただきました。なかでも理事長特製カレーが美味しかったです。

スタート時にはいろいろありましたが、職員の皆様には早くこの西桂に馴染んでいただき、他地区で培われた介護活動を当町に是非とも導入して町民への福祉、介護の充実をお願いするところです。

議員活動報告

山梨県町村議会議長会功労者表彰式・ 町村議会議員研修会に出席しました。

【自治功労者表彰式・町村議会議員研修会に参加】

平成29年5月25日に山梨県自治会館において山梨県町村議会議長会主催の「自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会」

に出席しました。表彰式では「全国町村議会議長会表彰」において5名の方、「山梨県町村議会議長会表彰」においては1団

体と15名の方が受賞されました。本町議会も平成28年2月に「全国町村議会議長会特別表彰」を受賞しており、今後も地域の進行発展及び住民福祉の向上のため、議会の活性化に積極的に取り組んでまいります。



町村議会議員研修会の様子

後半は、テレビ出演でおなじみの政治評論家・有馬晴海氏による「裏舞台から見た政治とこれからの政局展望」と題しての講演がありました。

時節柄、「森友学園」「加計学園」問題が議題となり、有馬氏から見た内情分析及び問題点についてジョークを入れながら解説していただきました。

今後ともひとつでも多くの研修会に参加し、議員一人ひとりが研鑽を積んでまいります。



一般質問

武藤隆義 議員

問

県道富士吉田西桂線の整備状況と周辺整備について

答

渋滞解消に向け早期に要望活動を展開する

武藤議員

県道718号富士吉田西桂線の未完成部分は、道路幅が狭く、交通量が増加し、重大事故が発生する危険性が高まっています。現状での認識は。

また、供用開始後の、周辺整備の取組は。

町長

西桂町の小沼工区、倉見区内における県道718号の進捗状況については富士・東部建設事務所吉田支所にて用地交渉を進めているところであり、本年度は用地取得・補償に関する事業予算を多額に確保して進めていくと聞いております。

また、未着手だった上暮地2工区、上町池の頭地内三叉路から富士吉田市上暮地までの事業も本年度から事業決定となったと聞いております。

西桂町内での事業が遅れている

現状を踏まえ、事業執行者である県に西桂町内での事業の進捗をさらに進め、国道139号の渋滞解消に早急に寄与していただけるよう、本定例会閉会後、早期に後藤知事を訪問して要望活動を展開しようと考えております。

「一般県道718号富士吉田西桂線の供用開始後の周辺土地利用」についての方針は「集落と田園が共生するエリア」として、既成市街地周辺の市街化拡大地域を含んでいることに留意し、農地の保全に配慮しつつ、都市的土地利用との調和の取れた適切な土地利用を図る地域としており、農用地の都市的土地利用への転換に際しては、周辺集落の環境と一体となった整備を目指し、良好な環境を確保するため倉見地区まちづくり方針や景観条例等に留意し、町に不足している資源を通じて持続可能な地域を形成したいと考えております。

農用地の都市的土地利用への

転換に際しては、周辺集落の環境と一体となった整備を目指し、良好な環境を確保するとしてあり、農振計画見直し、農用地除外等については、県と協議ができるものと考えており、農振農用地の除外には、「農用地区域外に代替できる土地がないこと」、「農用地の集団化、農作業の効率化等、農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼすおそれがないこと」、「農用地区域内における担

い手に対する農用地の利用の集積に支障を及ぼすおそれがないこと等の要件を満たすことが必要であります。当町の農業は自家消費型の零細経営であり、兼業農家がほとんどであり担い手不足が深刻化しております。土地の合理的利用と適切な土地需要に対応しつつ、持続可能な地域の形成に努めていきたいと考えております。



安全確保のためにも未着工区間の工事完了・供用開始が重要



一般質問

柏木 正 議員

問

警察署管轄を大月から富士吉田にすべきでは

答

住民の意見を聞きながら関係機関と協議を進める

柏木議員

警察署管轄について当町は富士北麓地域の観光開発、車の富士山ナンバー、ごみ処理施設の利用、消防団、富士山世界文化遺産関係や各種団体協議会など、地域、行政活動等の枠組みが富士北麓地区に移行してきている。今後スムーズな地域、行政活動を行なう上で富士吉田署に編入が必要ではないか。町としての考えを伺いたい。

町長

警察署管轄について、当町を管轄してきた旧都留警察署は、当時の都留郡下谷村に取締出張所として設置されたのが前身で、大月署に統合された後は、大月警察署都留分庁舎として日中警察官が在中し、主に当町を含む都留市、道志村、旧秋山村地域の、さまざまな犯罪の取り締まりや犯罪抑止対策、交通安全運

動などにより、地域住民が平和で安全に安心して暮らせるための拠点としてその使命を果たしております。

また、当町には西桂駐在所が設置されており、駐在する警察官と交通安全協会をはじめとする各種団体が協働により、交通安全対策、児童・生徒の安全対策、地域の防犯対策など、さまざまな活動を協力して行っているところであります。

議員ご指摘のとおり、住民の警察署への各種届出・申請は、大月警察署となり距離・時間的には現在造成工事を着手している、富士吉田警察署移設先の方がはるかに近くなります。

また、行政での関わりでも、本町他5市町村で組織する富士五湖広域行政事務組合で、消防、火葬場、廃棄物の処理、富士五湖ふるさと市町村圏計画等を共同で処理をしており、今後も相互に協力していく態勢にあり、私と

しても警察署管轄の検討をする時期にあると考えております。いずれにしても、「安全で安心して暮らせる地域社会」を構築し、有事に際し最大限の活動が保証されることが住民生活を安定させることであり、大きく変化する時代の中で組織機構

の再編整備は民間企業や地方公共団体、警察組織においても避けては通れない問題であると認識しておりますので、今後は、町民、各種団体の意見・要望を拝聴するなかで検討し、大月警察署、山梨県警察本部と協議を進めていきたいと考えております。



管轄の変更は？西桂警察官駐在所

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その69



西桂句会の先生、松川樹海さん（中央）と皆さん

訪問先

西桂句会

代表：新田 妙子

取材日：6月19日
渡部議員、勝俣議員

問 団体名は。

皆さん 西桂句会です。

問 代表者のお名前は。

皆さん 新田妙子さんです。

問 活動場所と時間は。

新田さん ふれあいサロン三ツ峠で毎月1回、午後1時から4時まで活動しています。

問 会員の数は。

新田さん 句を愛する方々、同志13名です。

問 今後の目標は。

皆さん 西桂文化祭や、山梨県俳句大会などに出展を予定しているのので、たくさんの方の句を考えたいです。

問 町民や行政、議会に望むことは。

皆さん 常時、会員を募集していますので、いつでも声をかけてください。文化祭でも出展しますので是非ご覧ください。



文化祭出展に向けて腕をみがきます

季語

「羅（うすもの）」

で一句

言ってみたい！
聞かせてよ！

歩け歩け運動
に参加しました

取材日：5月28日、渡部議員・勝俣議員



準備運動もしっかりと

荒井きよ子さん、渡辺一郎さん
はるとくれはゆずはてると
荒井瑠登さん、大谷紅葉さん、大谷柚葉さん、荒井照登さん

問 参加回数は。
渡辺さん 何度も参加しています。数えきれないです。
問 今日の意気込みは。
渡辺さん 孫についていく。
荒井さん 最後まで歩く。
皆さん 健康のため、家族サービスができて、みどりに包まれて、とてもやされます。
問 参加して
渡辺さん イベントがなければ三ツ峠を歩くこともないので、良い機会だと思います。

小林さんの一言で、快く「ハイチーズ」



毎年おいしい豚汁をありがとう。



やすゆき
小林康行さんと
パッシングショットの
みなさん

問 参加回数は。
小林さん 毎回参加しています。
問 今日の意気込みは
小林さん 最後まであきらめない。

発行責任者
西桂町議会議長
編集委員長 小山 正則
副委員長 渡部 保
委員 勝俣 豊一
委員 武藤 隆義
委員 柏木 正
委員 岩田 裕展

議会の傍聴を
お願いします。
次回定例会は9月
中旬です。
詳細は9月2日頃
ホームページにて
公表します。